

なぜ選ばれる？どう変わった？

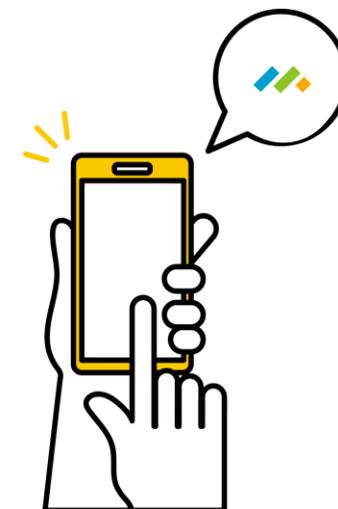
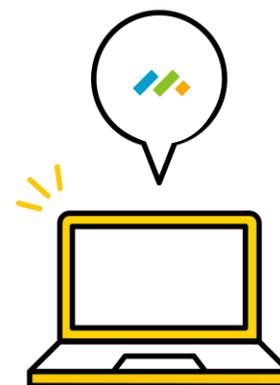
導入企業が語る

moconavi活用の事例



株式会社レコモット

 moconavi



INTRODUCTION

働き方の多様化を背景にしたテレワークの普及により、企業や自治体は「どこからでも働ける環境の整備」だけでなく「いかに安全にシステムへアクセスするか」「いかに業務を止めないか」という課題にも直面しています。 端末調達コストやセキュリティリスク、運用負荷など、導入前の課題は多岐にわたります。

本書では、こうした課題に対して**なぜ moconavi シリーズを選んだのか**、そして導入後に**どのような効果を得られたのか**を、目的別に整理してご紹介します。

「なぜ導入したのか?」「どう効果が出たのか?」―― その答えを、企業・自治体の実際の取り組みからぜひ参考にしてください。

INDEX

働く環境の大きな変化と直面する課題	3	目的2: 社外から社内PCにリモート接続したい 近鉄不動産株式会社事例	12
企業や自治体の moconavi 導入の目的とは?	4	事例で見えた課題をどう解決? moconavi のアプローチ「moconavi RDS」	13
企業・自治体の事例で学ぶ、moconavi 導入 目的別事例	5	VPN 不要で安全なリモートアクセスを実現する moconavi RDS の強み	14
目的1: 社外からクラウドや社内システムを活用したい 横浜市役所事例	6	目的3: 社内のコミュニケーションも図りたい あおぞら銀行事例	15
目的1: 社内外からクラウドや社内システムを活用したい 株式会社清水建設事例	7	事例で見えた課題をどう解決? moconavi のアプローチ「Contacts」	16
事例で見えた課題をどう解決? moconavi のアプローチ「クラウドゲートウェイ」	8	総まとめ: なぜ moconavi が選ばれるのか? 導入の決め手となる4つの特長	17
社内PCからセキュアにクラウドアクセスを実現!	9	トライアル・サポート体制のご紹介	18
ゼロトラストなセキュアブラウザ『mococho』とは?	10	会社概要	19
mococho では、2通りのOfficeファイル編集機能も提供	11	お問い合わせ	20

働く環境の大きな変化と直面する課題

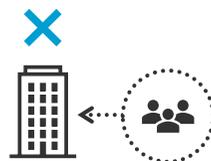
リモートワークの普及やDXの推進、さらには災害・感染症対策などを背景に、企業や自治体の働く環境は大きく変化しています。一方で、端末調達コストの増大、業務持続性（BCP）への不安、クラウドサービスを安全に活用するためのセキュリティ確保など、新たな課題にも直面しています。

働く環境の大きな変動



高騰する専用端末コストや 管理負担

数百～数千台の社給端末を維持するには、年間数千万円規模のコストが発生。回線契約・管理も情シスの大きな負担に。



災害・感染症時の 事業継続性計画

オフィス閉鎖が起これば、システムにアクセスできず業務が完全に止まってしまう。



不安定なVPN接続による 業務停滞

TeamsやOutlookを使いたくても、VPN接続が不安定で業務に支障が出るケースが多い。

これらの課題を克服するには、端末に依存しない新しい仕組みが求められています。
その解決策として活用できるのが **moconavi**（モコナビ）です。

企業や自治体のmoconavi導入の目的とは？

moconaviシリーズは、場所や端末に依存せず、安全かつ効率的に業務を進められる環境を提供します。
導入企業や自治体が抱えていた課題は、主に次の3つの目的に集約されますが、それだけにとどまりません。
多様化する働き方やセキュリティ要件に応じて、さらに幅広いニーズに対応できる柔軟性が求められています。

3つの目的

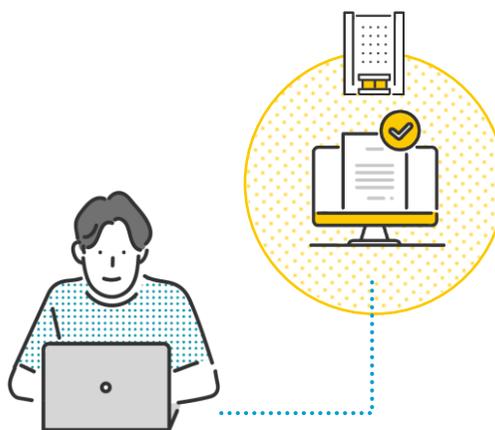
目的1

社内外からクラウドや
社内システムを活用したい



目的2

社外から社内PCに
リモート接続したい



目的3

社内のコミュニケーションも
図りたい



CASE

企業・自治体の例で学ぶ、 moconavi導入 目的別事例



ここからは、企業が直面する代表的な課題を切り口に、企業や自治体が moconavi を活用してどのように解決してきたのかを、実際の事例を通じてご紹介します。

目的 1

社内外からクラウドや社内システムを活用したい

- 横浜市役所
- 清水建設

目的 2

社外から社内PCにリモート接続したい

- 近鉄不動産

目的 3

コミュニケーションも図りたい

- あおぞら銀行

リモートでも職員が安心して繋がれる環境を実現



▶ 事例詳細は
こちらから

横浜市役所

業種：地方自治体
従業員規模：10,000人以上
連携サービス：BYOD導入、セキュリティ強化

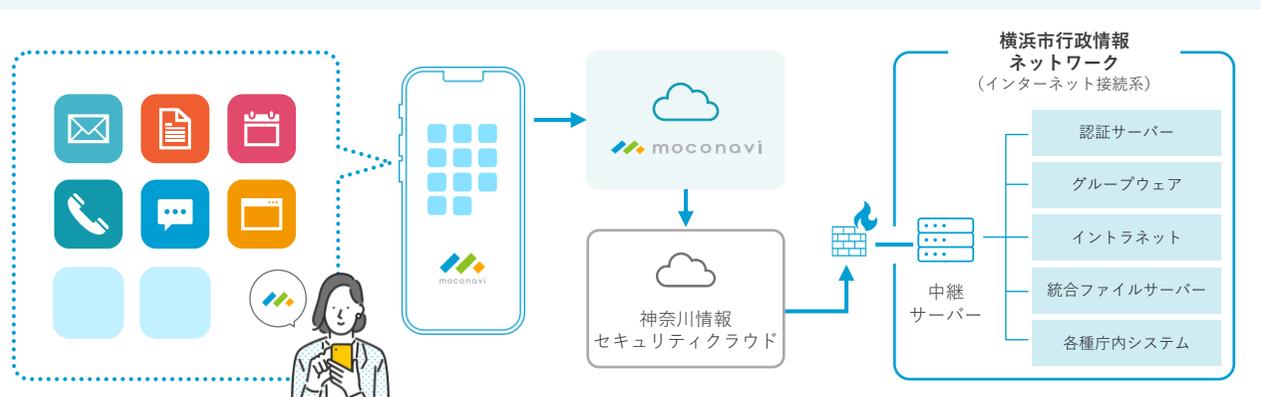
導入前の課題

- 災害時、職員は役所に参集するまで庁内の情報にアクセスする手段がなく、情報共有の遅延が発生
- 出張時、庁内PCを持ち出しできず、必要な書類を印刷して持ち出す必要があり、紛失リスクや運用負荷が大きい
- 突発的な休暇取得時、庁外からスケジュール・メール確認や引き継ぎができず、業務継続性に不安

導入後

セキュリティを確保しつつ、場所や端末に限らずアクセスが可能に

- moconavi+ゼロトラストブラウザ「mococho」で、外部から内部を安全にアクセス可能になり、スマホでの資料・スケジュール確認、連絡も容易になった。
- 被災地支援でも日々の状況や課題を円滑に共有でき、適切かつ迅速に支援にあたることができた。



お客様の声



moconaviは直感的に使える操作性の高さ、職員が利用するさまざまなデバイスで利用可能な点が魅力です。

サポート面でも全庁展開に向けた説明動画を作成していただき、大変助かりました。横浜市の運用ルールをヒアリングしたうえで、それぞれ短い動画にまとめてもらえ、感謝しています。

現在は職員専用のヘルプデスク対応と、毎月の定例会で利用状況の確認を行い、市のニーズに合わせてレポートを提出いただいています。改善要望にも柔軟に対応いただき、運用負荷の軽減にもつながりました。

サポートの手厚さは、国産のクラウドサービスならではのようです。

2万人にスムーズに導入

moconaviとOffice 365によって、以前の環境よりも利便性が向上



株式会社清水建設

業種：建設業
従業員規模：10,000人以上
連携サービス：CRM, Microsoft 365, 社内システム

▶ 事例詳細は
こちらから

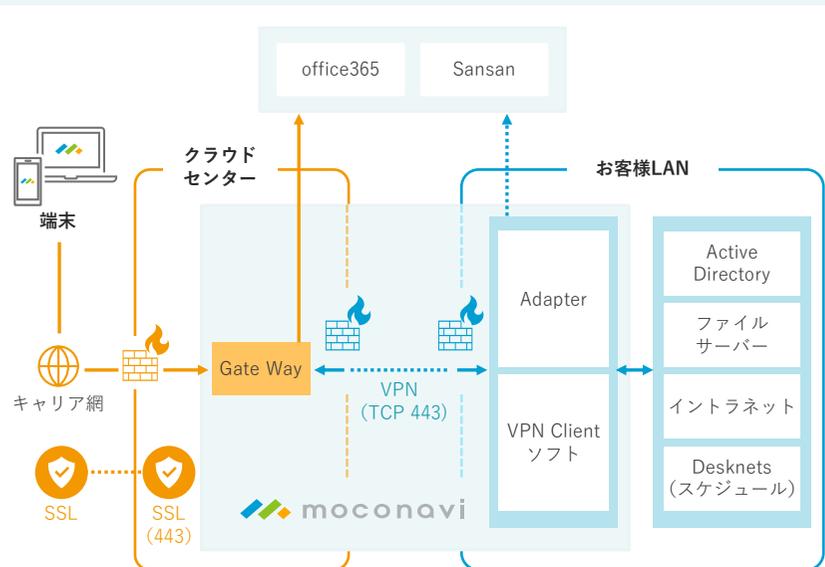
導入前の課題

- 利用人数が多いため、ツールの導入・管理にコストがかかる
- 内線をスマホに切り替えるため、電話連携の機能がほしい
- PCとモバイル端末でメールサービスが違って不便

導入後

moconavi + Office 365 (Microsoft 365)、クラウド名刺管理ツールと連携で利便性が向上

moconaviは接続できるSaaSの数が多く、**内線携帯 + moconavi**で、いつでもどこでも電話を受けられ、相手をすぐに確認することができるため、リードタイムを短縮でき、業務の改革につながっている。移動中やエレベーターの中からも資料を確認でき、見られない資料やメールが減って利便性が向上した。



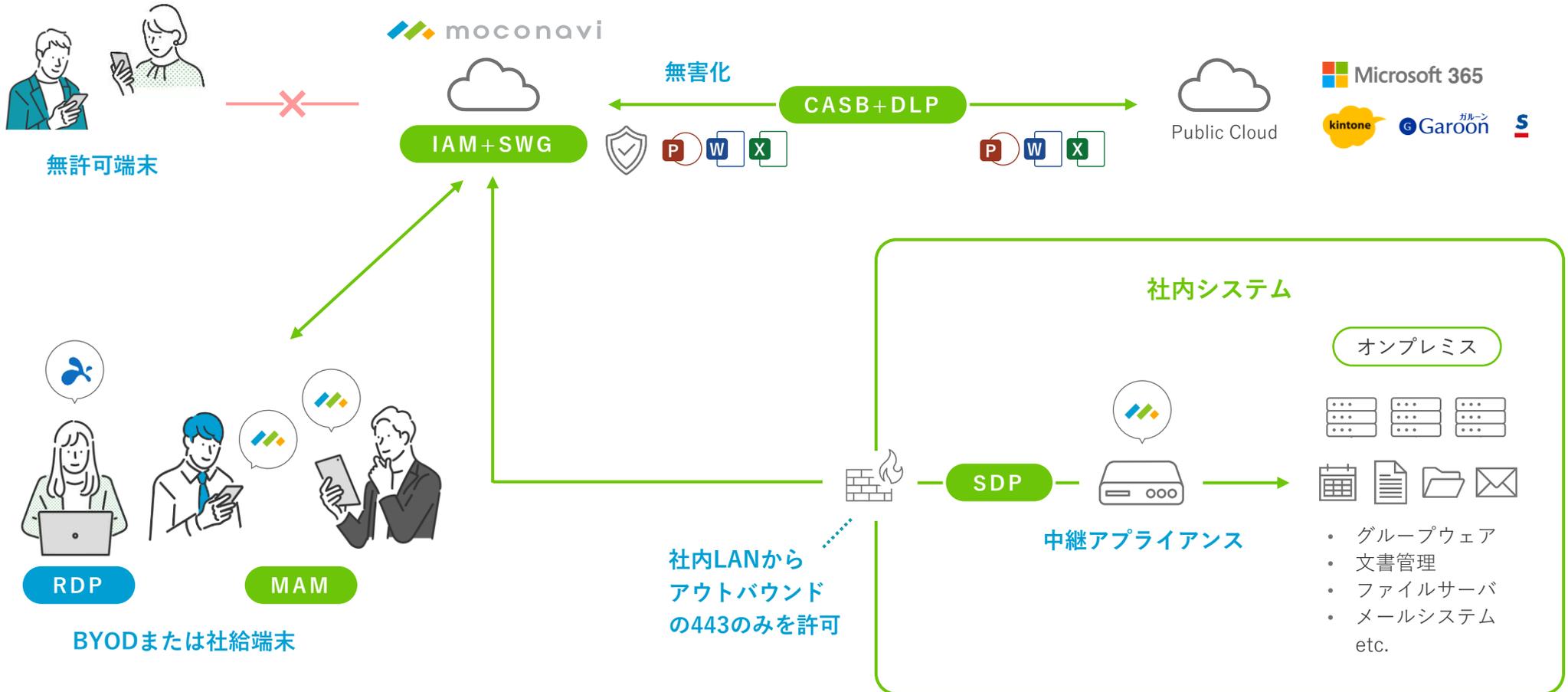
お客様の声



moconaviの導入で業務効率が上がったことはもちろんですが、とにかく、素早く対応してくれることに驚きました。本番稼働前に、打ち合わせ中にレコモットの営業の方に要望を伝えると、その場で営業の方がエンジニアに裏で連絡をしてくれて、打ち合わせが終わる前に対応が完了してしまうこともありました。チャットで気軽に要望などを伝えられ、すぐに対応してくれるのは非常に助かっています。

事例で見た課題をどう解決？ moconaviのアプローチ「クラウドゲートウェイ」

前述の事例でご紹介したとおり、moconavi（モコナビ）はクラウドサービスや社内システムへ、社内外を問わず安全にアクセスできます。さらに、moconaviはゼロトラストの主要部分をカバーし、VPN機器や証明書を必要とせず、デバイス認証やIP制限にも対応しています。オンプレミス・クラウドの両環境に対応し、幅広い範囲で自社のゼロトラスト・セキュリティを実現します。

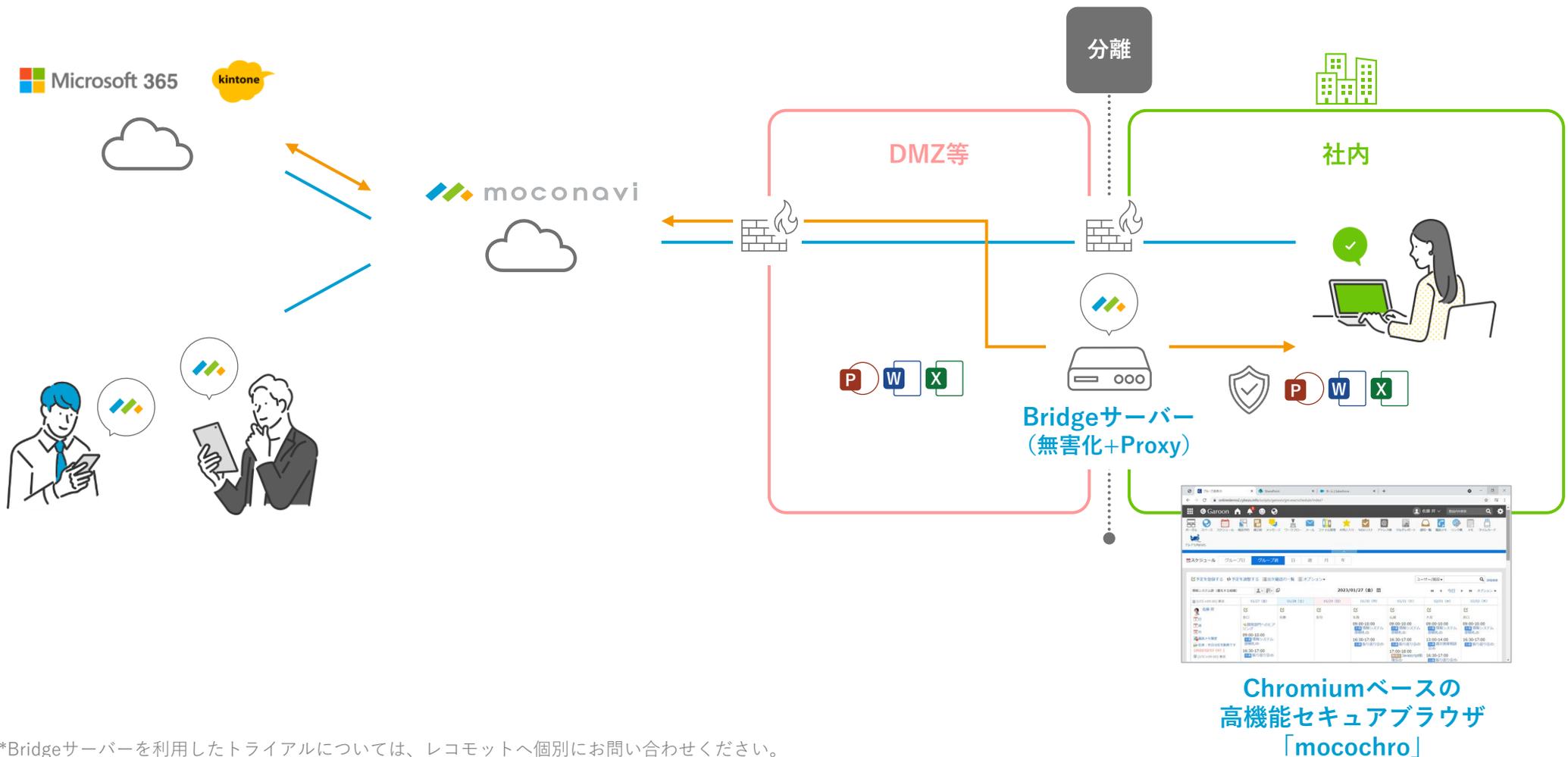


*中継アプライアンスを利用したトライアルについては、レコモットへ個別にお問い合わせください。

社内PCからセキュアにクラウドアクセスを実現！

また、社内からのクラウドアクセスに「moconavi Bridgeサーバー」による無害化処理と特定URLのみのアクセス制御を行うローカルブレイクアウト（LBO）環境の構築が可能です。

これにより、さまざまなクラウドサービスを利用しながら、ゼロトラストを実現できます。



*Bridgeサーバーを利用したトライアルについては、レコモットへ個別にお問い合わせください。

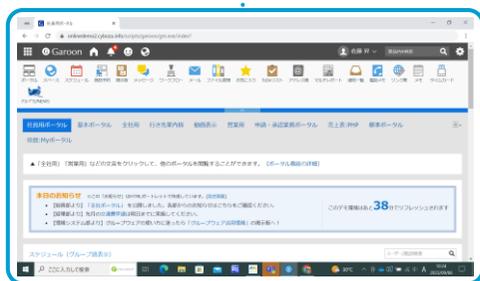
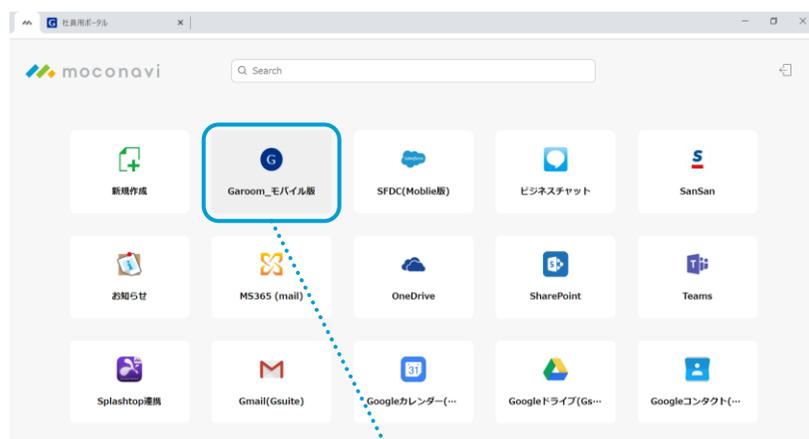
ゼロトラストなセキュアブラウザ『mococho』とは？

mococho（モコクロ）は、moconaviに搭載された高機能セキュアブラウザです。

Chromium※をベースに開発されており、Google ChromeやMicrosoft Edgeに似た見た目と操作性を実現しています。

高いセキュリティ機能を搭載し、ゼロトラストセキュリティに対応したブラウザとして、より安全なブラウジング環境を提供します。

利用アプリを集約できるmocochoホーム画面



クラウドサービスへ簡単アクセス

万全のセキュリティ機能を標準搭載

利用アプリケーションの制限



- ブックマークの利用可否制御
- URL入力欄の利用可否制御
- 画面キャプチャ・コピー・ダウンロード可否制御

ダウンロードファイルの無害化



- 無害化してダウンロード

ウォーターマークの表示



- ウォーターマーク(電子透かし)で画面キャプチャ抑止

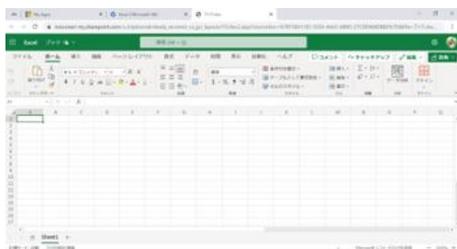
※Chromium・・・フリーかつオープンソースのウェブブラウザ向けのコードベース

mocochroでは、2通りのOfficeファイル編集機能も提供

mocochroはデータを残さずに編集できる2つのOfficeファイルの編集機能を提供しています。
また、PCローカルへのデータ保存を制御できるため、使いやすさとセキュリティの両軸を兼ね備えています。

2通りのOfficeファイル編集機能

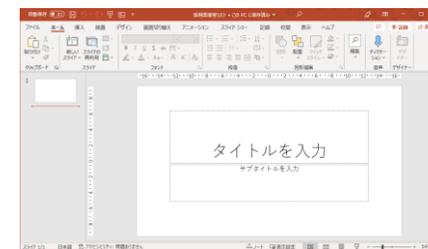
Webアプリを用いた ファイル編集



- ブラウザ上で編集できるので安心



ローカルSandboxを用いた ファイル編集



- サンドボックス内で編集できる
- 開いたファイルがウイルス感染していてもOSに影響がない
- サンドボックス内で編集したデータをmoconavi内のファイルサーバに転送できる

テレワークツールをmoconaviに移行

約900人の社員全員及び社外一部のスタッフの生産性が向上、
緊急時の対応も円滑に



▶ 事例詳細は
こちらから

近鉄不動産株式会社

業種：不動産・物品賃貸業
従業員規模：500～1,000人以上
連携サービス：VPN・閉域網, クラウドストレージ

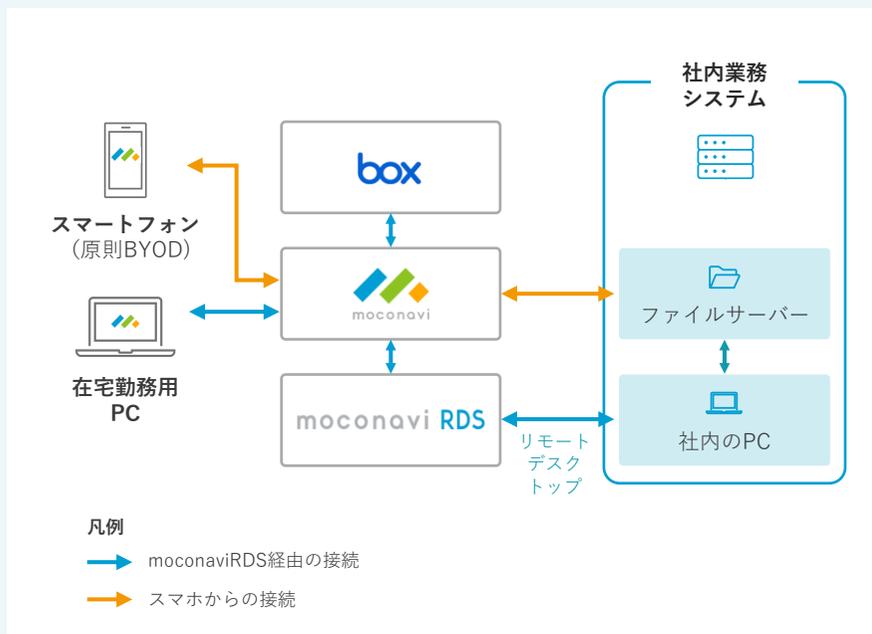
導入前の課題

- 業務に欠かせない社内システムの、ほとんどがオンプレミス型
- 営業が持ち運ぶ資料は個人情報を含むため、漏洩のリスクが大きい

導入後

moconavi RDS（リモートデスクトップ）の導入で在宅から業務システムを利用可能に

- 社内の業務システムのほとんどはクライアント/サーバー型で構成されていたが、業務を止めることなく在宅でも利用できる環境を整備できた。
- 緊急時もスムーズに内勤者のテレワーク化が実現できた。現在も多くの内勤者がこの仕組みで自宅勤務を継続している。



お客様の声



moconaviの他にも複数の製品が検討されましたが、最もシンプルにセキュリティを守れるのはmoconaviであるという評価になりました。また、既存のクラウドツールにアクセスする環境を整えたことで、外勤の社員が紙の資料を持ち歩く必要がなくなり、必要な資料はどこでも参照できるため、外勤社員の時間外勤務も導入前に比べて1/3に減少しました。

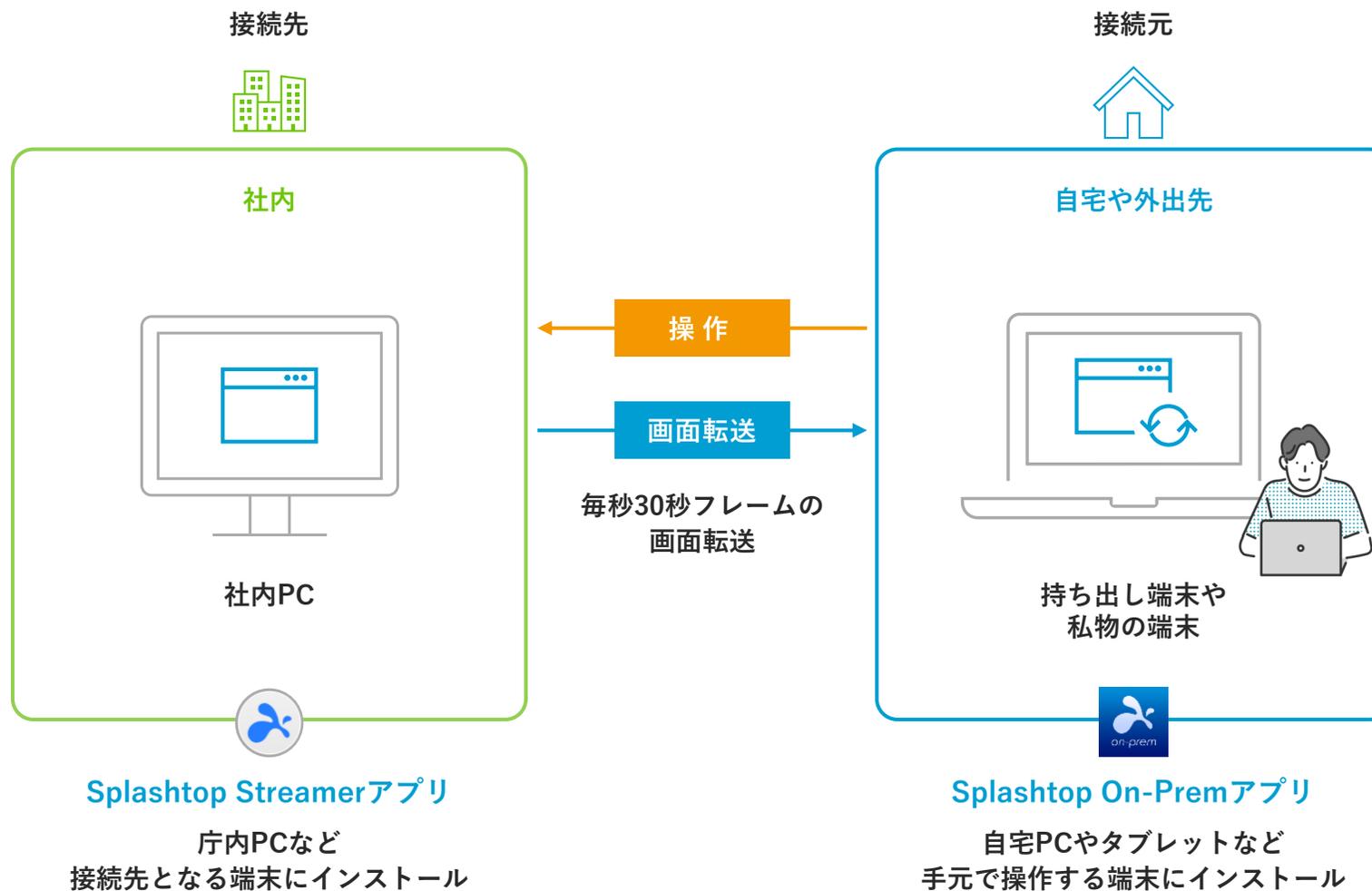
社内の勤務ルールに合わせて利用時間を制限する機能も、サポートチームによる丁寧な支援のもと実現しています。

今後も他にも様々なクラウドサービスとの連携を考えています。

事例で見た課題をどう解決？ moconaviのアプローチ「moconavi RDS」

moconavi RDSは社内外からPCにリモートでアクセスし、画面転送技術を活用することで、普段と同じようにインターネットを利用したデータの閲覧・編集が可能です。

インターネット環境があれば、場所にとらわれないリモートワークを実現できます。



* moconavi RDSはSplashtopのOEMサービスです。

moconavi RDSの6つの強み

01



サーバー不要のクラウドタイプ

インターネット環境さえあればどこからでも利用できます。

02



簡単操作

わかりやすいインターフェイスと操作性で、ユーザートレーニングが必要ありません。

03



初期費用不要

初期費用0円で月額費用のみ。低コストにもかかわらず、豊富な機能を搭載しています。

04



幅広いデバイスに対応

iOS・Android・Windows・Macから、Windows、Macへリモートアクセスできます。

05



タイムラグのない操作性

リアルタイムに高速描写する最新技術を採用。HD画質で快適なリモートアクセスを実現します。

06



堅牢なセキュリティ

SSL/TLS、AES-256ビットで保護。デバイス認証や2段階認証などにも対応しています。

BYOD + moconaviで

意思決定の高速化をセキュアに実現



▶ [事例詳細はこちら](#)

あおぞら銀行

業種：普通銀行、金融業
 従業員規模：2,000~10,000人
 連携サービス：Exchange Server, コミュニケーション（チャットツール）、メール、社内システム、電話・UC

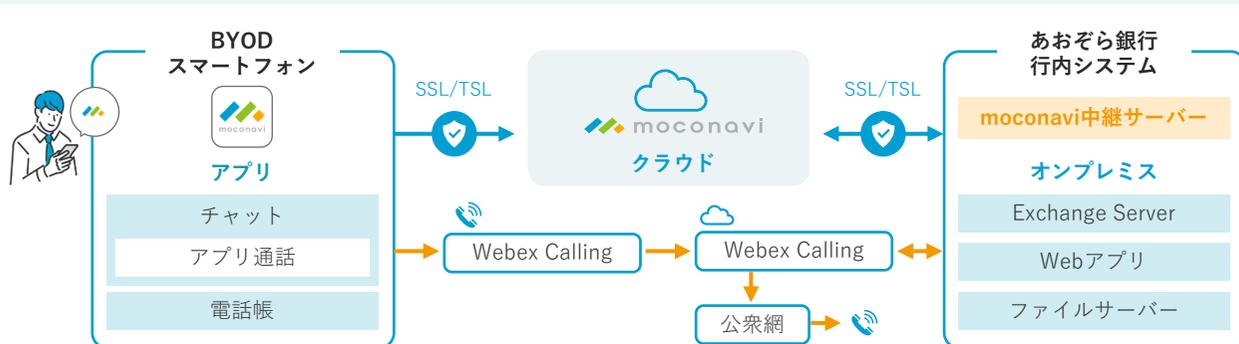
導入前の課題

- 社給スマホが1000台規模になっていたが、端末紛失時に情報漏えい有無の確認が不十分な状態だった
- 個人用スマホとの2台持ちになるため、社内/社外で活動する際の荷物が増えていた

導入後

端末の2台持ちを解消し、セキュリティも担保可能に

- これまでは第三者によるアクセスがないことを証明するために、紛失のたびに関係部門と連携した対応が必要だったが、moconaviはアクセスログの確認ができるため、その対応が必要なくなった。
- **BYOD端末**で社内のワークフローに安全にアクセスできるようになり、スマホでさまざまな承認が可能になった。その結果、意思決定が迅速化した。
 加えてスマホでチャットが使えるようになり、コミュニケーションが活発になった結果、業務効率化につながっている。



お客様の声



当初は別の選択肢としてmoconavi以外の他社のサービスも検討していました。しかしmoconaviの方がユーザーインターフェースの使い勝手が良く、電話帳から直接電話を発信できるなど、電話との親和性も優れていました。そのため早い段階で他社のサービスは選択肢からはずれ、moconavi一択となりました。今では全員が自分のスマホで業務を行えるようになっています。

事例で見た課題をどう解決？ moconaviのアプローチ「Contacts」

moconavi Contactsは、moconaviをご契約いただいている場合、追加料金なしで利用できる、コミュニケーションに特化した機能をまとめた手軽なプランです。

データはmoconaviクラウドセンターに保存され、連絡先の一元管理やユーザー個人の連絡先管理にご利用できます。

便利な機能は以下の4つです。

ビジネスチャット

テキストチャット



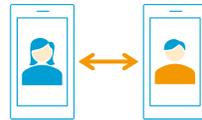
1対1または
グループで
利用可能

音声通話



1対1で
利用可能

ビデオ通話



1対1で
利用可能

クラウド電話帳

社内電話帳

社内のmoconaviユーザを
自動で登録・表示

共有電話帳

社内のmoconaviユーザ内で
共有したい連絡先を
登録できる

個人電話帳

moconaviユーザ自身が
利用する連絡先を
登録できる



管理者

電話帳の情報を一元管理



電話帳



ユーザー

moconaviで電話帳にアクセス

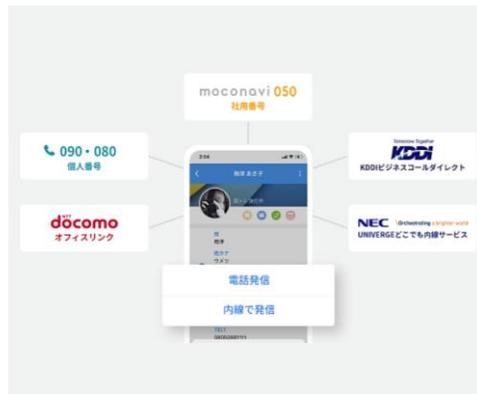
着信連携

moconavi内に設定したアドレス帳と連携して発着信できる

発信時



着信時



お知らせ機能

moconaviユーザーに知らせたいことは、
moconaviで通知できる

ユーザー情報や端末情報による
通知先の絞り込みができる

お知らせの通知を
PUSH通知で
お知らせ



moconaviの
お知らせから
内容確認



OSで絞り込んで通知送信



Androidユーザー



総まとめ：なぜmoconaviが選ばれるのか？導入の決め手となる4つの特長

moconaviは、1,700社※以上の企業に選ばれています。

セキュリティを担保するために犠牲になりがちなユーザビリティや、全社展開に伴う導入・運用コスト——これらの課題を、moconaviはすべて解決します。

※・・・2025年10月現在の概数

1,700社が選んだ理由

01



堅牢なセキュリティ

moconavi はサンドボックス内に業務環境を提供するため、端末や通信経路に一切データを残しません。端末がマルウェアに感染してもmoconavi へウイルスの侵入は不可能。また、端末にデータを残さないため、端末紛失時にもリモートワイプそのものが不要です。

02



多様なサービス連携

moconavi はさまざまな業務サービスとセキュアな連携が可能。VPN不要でアクセスでき、業務効率を落としません。いつも使う端末で、いつも使うサービスを、moconavi の安全な環境でご利用いただけます。

03



直感的な操作感

moconavi は使いやすさを考えたUIにより簡単操作を実現。専用アプリで操作もスムーズです。高い通信効率でサクサク動くため、業務の生産性を落としません。

04



簡単導入・低コスト

moconavi は利用端末に専用アプリをインストールするだけ。最短5営業日で導入でき、簡単運用が可能です。各業務アプリの利用範囲や権限も moconavi で一元管理できるため、端末証明書の必要がなく、管理の手間もコストもかかりません。

無料トライアル実施中！

最大30日間・20ユーザーまでの
無料トライアルをご用意しています。
お客様のシステム環境で実際にお試しいただけます。



サポートも充実！

トライアル中のQAや接続できないといった
トラブルシューティングは
**お客様専任の
トライアルサポートチーム**が対応します。



ABOUT US

会社名	株式会社レコモット(英語表記：recomot Inc.)
設立年月日	2005年11月
資本金	100,000,000円
所在地	〒102-0083 東京都千代田区麴町 3-3-8 麴町センタープレイス 8F
事業内容	(1) 携帯電話関連製品の開発・販売・運用 (2) コミュニケーション関連システムの受託開発 (3) 電気通信事業 届出番号：A-30-16513
代表者名	東郷 剛（代表取締役CEO）



ご不明な点やご質問・ご相談がございましたら
お気軽にご連絡ください。



03-4446-5007 (平日10:00~18:00)



<https://moconavi.jp/inquiry/>



<https://moconavi.jp/>

